

公益社団法人日本天文学会理事会議事録

日 時：2015年12月20日（日）13:00 - 17:00

場 所：八重洲ホール 302号室

出席理事：市川、望月、半田、山下、中村、柴田、熊谷、青木、佐藤、山岡、政井（以上11名）

欠席監事：松原、渡邊（以上2名）

欠席理事：嶋作、須佐、谷口（以上3名）

また、佐藤事務長、黒岩事務員が出席した。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席理事が11名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：市川隆

署名人：市川隆、望月優子、半田利弘

I-2 前回議事録

資料2に基づき、前回（2015年9月9日）の理事会議事録が報告・確認された。

II. 報告

II-1 移籍・退会報告（資料3、中村）

2015年9月1日より2015年12月18日までの間の移籍・退会者数が報告された。

正会員入会74名、準会員入会8名、準会員から正会員への移籍会員数は0名、正会員から準会員への移籍は0名、正会員退会3名、準会員退会6名であった。

II-2 事業担当理事の近況

1. 年会（佐藤）

首都大での春季年会：申し込み総数669件。特別セッション3件、企画セッション4件で行う予定である。来年1月にプログラム編成会議を開く。最終日(3/17)は13:30までで終了。

年会開催地からの報告

2. 首都大（政井）

会場の様子について詳しく説明があった。南大沢の駅から会場まではわかりやすい。初日の保育室は入試業務のため、別の部屋となる。1月25日に業者が下見に来て搬入経路などの確認に来る。公開講演会のポスター・チラシを作り、近隣の公共施設に配布予定。3月12日記者会見、3月13日が公開講演会。1月に記者発表会場の予約金を払う予定。懇親会会場が少々狭く、200人がぎりぎり。学会から大学への後援依頼は今回は必要ないが、実質的に後援してもらっている。ウェブサイトは9月から公開済み。

3. 愛媛大（山下） 特になし

4. 九州大（山岡）

日程が決まった。2017年3月15日（水）から18日（土）。物理学会年会と2日間かぶってしまう。福岡観光コンベンションビューローに助成を申請。会場は伊都キャンパス。ポスター会場のギャラリーは外気にさらされるので寒い

かもしれない。3月14日に記者発表を行い、3月19日に天神地区で公開講演会を開催。テーマは「アニメ・SF・天文学（仮）」。

保育室はほぼ場所を決定。無線LANを利用可能にする予定。年会開催地理事を交代(山岡から町田正博)。

5. 月報（青木）

編集作業を継続している。すぎく、大学間連携、大学間連携、SEEDS、ひのでと特集が詰まっている。京都賞の記事とノーベル物理学賞の記事を載せた。このため、ページ数が若干増えている。シリーズ「天文学者たちの昭和」が継続している。

6. PASJ（山下）山下庶務理事が嶋作 PASJ 理事の代理報告。

おおむね順調に刊行。紙版の希望申請の受け付け開始。国際誌であることをアピールするため、副題をつけることを検討中。

7. 庶務（山下）

2016年度事業計画案を作成した。代議員選挙が完了した。内閣府の立ち入り検査が延期された。明日、事務職員の面談が予定されている。

8. 会計（柴田）

2016年度の予算案を作成。

9. 天文教育（山岡）

系外惑星命名の結果が発表された（12月15日）。19系のうち日本から提案の名前が4系で採用された。国際光年まとめシンポが1月11日に東京理科大で開かれる（日本天文学会共催）。大学教育分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準について、日本天文学会から学術会議物理学委員会に10月31日に文案提案。物理委員会のほうで物理と天文を合わせた文書を作成予定。天文分野で独自の文書を、日本天文学会から発出予定。

II-3 学会 HP について（望月）

前会期ネットワーク委員会により学会ホームページの作成が進められていたが、会員へのお知らせのページが未整備、作成後の事務所内の運用体制などの理由から、望月副会長が責任者となって来年度に新たに仕切り直すことになった。前会期ネットワーク委員長等、関係者の了解を得ている。但し、新規改訂にあたっては、理事側及び事務所内の運営・管理体制を十分に検討する必要がある。英語の年会申し込みページについても新たに作成していきたい。

II-4 事務所報告（佐藤良）

年会の郵送申し込み者2名のうち1名の方からクレームがあった。来年度から短時間雇用時間契約者の時給が上がる。

II-5 年会講演申し込みの全電子化について(佐藤文)

郵送申し込みは5件以内。印刷版予稿集には広告があり、その扱いをどうするか？座長に紙版を配布している。それをどうするか？予稿の原稿に図を入れられるようにしたいという要望があり、pdfアップロードかlatexに取り込むやり方がある。現サーバーでファイルアップロードの負担がどの程度になるか要確認。

II-6 非会員による年会講演について（佐藤文）

2015年から非会員講演を1回に制限された。今回で3回目。今回70名ほどと微増中。過去の発表との照合（非会員発表は1回のみなので）の負担が増えている。登壇者変更（申し込み者と講演者の変更）による非会員発表の問題も出てきている。非会員講演がこのまま増えていくと事務処理が膨大になるので、講演資格の

見直し等も必要かもしれない。

II-7 研究奨励費の賞金について（市川）

研究奨励費の財源がなくなりかけている。賞金を出すのをやめる可能性もある。また、今まで通り、賞金を出す場合には、賛助会費から出せるようにしたい。賛助会員の了解が必要である。

II-8 その他

広報担当理事について（市川）

広報担当の理事を新設する可能性について市川会長より、話題提供があり、意見交換された。

III. 議題

III-1 2016 年度事業案の承認（山下、資料 4）

事業案の説明がなされた。WG が新設されたこと、現代の天文学の事業が追加された。あとは例年と同じ。以上の説明の後、承認された。

III-2 2016 年度予算書の承認（柴田、資料 5）

予算書の説明がなされた。職員の時給単価の上昇に伴い給与手当が増加した。新設された WG の開催のための旅費が増えた。HP の更新費用が計上されている。「シリーズ現代の天文学」の作成経費が増えた。以上の説明ののち、承認された。

III-3 経理規定の改訂の承認（熊谷、資料 6）

“公益社団法人に移行したための文言の修正を複数箇所行い、予備費の扱い（3 章）の表現を変えた”との説明の後、承認した。

III-4 新規入会者の承認（中村、資料 3）

新規入会者リストの確認の後、承認された。

III-5 「シリーズ現代の天文学」第 2 版出版について（熊谷、資料 8）

英語版を出版予定。それに合わせ、日本語版第 2 版を出したい。日本天文学会の事業として認定し、1 巻当たり 20 万～30 万円の費用の負担をしてほしい。著作権の確認が必要との議論がされたのち、承認された。

III-6 新規加入者の承認（中村、資料 3）

全会一致で承認された。

III-7 日本天文学会推薦学術用語集について（半田、資料 7）

初版、増訂版が刊行されてからかなり時間がたっており、天文学用語集の改定が必要であることが説明された。幾つかの委員会の設置案が提示され、議論ののち、作業部会の設置が提案され、承認された。

III-8 災害救助法適用の場合の会費免除細則の追記について（市川、資料 9）

案が示され、代議員総会への提案が承認された。

III-9 短時間契約職員の継続雇用について（市川、資料 10）

月報担当の職員の 2016 年度末までの継続雇用について、承認された。

III-10 退職一時金割増しについて（市川、資料 11）

退職一時金の規定に基づき、退職予定者への退職一時金の割増しが承認された。

III-11 年会記者発表に関する内規の制定について（望月、資料 12）

秋季年会における記者発表を担当した望月副会長より、学会記者発表の責任者と選出された講演者の義務についての内規を制定する必要性が説明された。自由な意見交換がなされ、今後の記者発表を副会長が担当すると限らないことから、提

出された内規（案）において「記者発表を担当する副会長」を「広報を担当する理事」と文言が修正されたのち、承認された。なお、年会記者発表はこれまで立候補と推薦から選考されていたが、立候補を増やすような取り組みが必要との認識が示され、現理事会としても年会記者発表を重視していく方針が確認された。

III-12 欧文研究報告編集委員の選任について（山下、資料13）

現編集委員（東京理科大学・鈴木英之氏）1名が退任するので、代わりに同じ分野を担当できる方として福岡大学の固武 慶さんを新規に編集委員とすることが承認された。

III-13 3学会合同企画セッション（プラズマ宇宙物理）における参加者・講演費の扱いについて（山下）

参加費講演費を正会員扱いとすることが提案され承認された。

III-14 年会開催地理事の承認（交代）について（山下）

年会開催地理事の谷口義明氏（愛媛大）と山岡 均氏（九州大）の異動が決まったので、それぞれ後任として寺島雄一氏（愛媛大）と町田正博氏（九州大）の年会開催地理事への就任を代議員総会に提案することが承認された。

[資料リスト]

- 資料1 理事会出欠表
- 資料2 前回(2015年9月9日)理事会議事録（案）
- 資料3 新規加入者・加入予定者の承認(2015/9/1～2015/12/18)
- 資料4 公益社団法人日本天文学会 2016年度事業案
- 資料5 公益社団法人日本天文学会 2016年度予算書
- 資料6 公益社団法人 日本天文学会経理規定
- 資料7 「日本天文学会編 天文学用語集（仮題）」差規制の提案（補足）
- 資料8 「シリーズ現代の天文学」第2版出版について
- 資料9 災害救助法適用の場合の会費免除細則の追記について
- 資料10 短期間契約職員の継続雇用について
- 資料11 短期間契約職員の割り増し退職一時金について
- 資料12 年会記者発表に関する内規（案）
- 資料13 PASJ 編集委員会からの報告および議題
- 資料14 年会講演申込の全電子化についての検討状況

2015年 12月20日

会 長：市川 隆 印

副会長：望月 優子 印

副会長：半田 利弘 印